

4月22日(土)13:00～17:00(受付開始 12:30、会場:北1号館 401)

*総会

*大会記念講演会

上島 有(摂南大学名誉教授)

「東寺百合文書からアーカイブズ学へー中世アーカイブズ学への思いー」

*懇親会(会場:学習院大学輔仁会館)*懇親会費:3000円

4月23日(日)10:00～17:00(受付開始 9:30、会場:北1号館 201)

◎自由論題研究発表会

【会場:北1号館 201 教室】

- 平澤加奈子(東京大学史料編纂所研究支援推進員)、鈴木靖民(國學院大學文学部)、田中史生(関東学院大学経済学部)

「『入唐求法巡礼行記』データベースの可能性ー写本資料の活用にむけてー」

- 高橋実(人間文化研究機構国文学研究資料館アーカイブズ研究系)

「熊本藩の文書記録管理システムとその特質」

- 清水邦俊(千葉県文書館 県史・古文書課)

「近現代文書の目録編成についてー千葉県における改正地券を素材にー」

【会場:北1号館 401 教室】

- 田嶋知宏(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程)

「アメリカの州アーカイブズとレコードマネージメント

ー州歴史協会(State Historical Society)の位置づけに着目してー」

- 藤吉圭二(高野山大学文学部)

「歴史資料活用におけるデジタル技術の役割ー高野山大学の取り組みを事例としてー」

- 松崎裕子(財団法人渋沢栄一記念財団実業史研究情報センター 企業史料プロジェクト担当)

「企業史料と情報共有ー欧米の事例と渋沢財団実業史研究情報センターの取り組みー」

◎シンポジウム(13:30～17:00)【会場:北1号館 201 教室】

《アーカイブズ専門職の未来を拓く》

- 針谷武志(別府大学文学部)

「大学と大学院のアーカイブズ教育ー別府大学の事例を中心にー」

- 波多野宏之(駿河台大学文化情報学部)

「アート・ドキュメンテーションの専門職能とデジタル・アーカイブズー教育・研修に向けてー」

- 高山正也(国立公文書館理事)

「専門職の未来を考える:図書館専門職の反省に立って」

- 渡辺浩一(人間文化研究機構国文学研究資料館アーカイブズ研究系)

「アーカイブズ・カレッジの実践」